

いしかり 市議会だより

No.219

令和6年8月1日発行

発行:北海道石狩市議会 編集:議会広報特別委員会
TEL:0133-72-3181(直通) FAX:0133-75-2280
Eメール:gikai@city.ishikari.hokkaido.jp

石狩ボート協会



こんなことが決まりました	2
一般質問	4
委員会活動だより	14
石狩市議会政務活動費 収支報告 概要	16

こんなことが決まりました



第1回臨時会 (4月11日)

傍聴者 0人

令和6年第1回臨時会は、4月11日に開催され、補正予算などを審議しました。

◆◆◆ 補正予算 ◆◆◆

令和6年度一般会計の主な補正

- | | | |
|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| ○総務費 3,270万7千円
・ DX推進事業費 | ○衛生費 3億4,124万円
・ 脱炭素先行地域推進事業費 | ○教育費 9,000万円
・ 小学校校舎等改修事業費 |
|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|

◆◆◆ 第1回臨時会 議決結果 ◆◆◆

全会一致で決まったこと

- 令和6年度補正予算 ・ 石狩市一般会計補正予算(第1号)
- 承認 ・ 専決処分につき承認を求める件(石狩市税条例及び石狩市都市計画税に関する条例の一部を改正する条例)
・ 専決処分につき承認を求める件(石狩市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- 同意 ・ 石狩市固定資産評価員選任について同意を求める件(糸尾博樹氏)



第2回定例会 (6月10日～28日)

傍聴者 26人

令和6年第2回定例会は、19日間の会期で開催され、補正予算、条例改正などを審議しました。

◆◆◆ 補正予算 ◆◆◆

令和6年度一般会計の主な補正

- | | |
|---|---|
| ○総務費 1億1,350万円
・ 庁舎管理費
・ DX推進事業費 | ○商工費 170万円
・ 観光振興事業費 |
| ○民生費 3億4,834万3千円
・ 障がい者地域生活支援事業費
・ 児童手当支給事業費 など | ○土木費 2億1,018万2千円
・ 道路橋りょう新設改良事業費
・ 道路橋りょう維持費 など |
| ○衛生費 5,360万円
・ 母子保健対策事業費
・ ごみ処理事業費 | ○消防費 660万円
・ 石狩北部地区消防事務組合負担金 |
| | ○教育費 2,710万円
・ スポーツによるまちづくり推進交付金
・ スポーツ施設改修事業費 など |

◆◆◆ 条例の一部改正 ◆◆◆

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ○石狩市議会会議規則の一部を改正する規則案 | ○石狩市議会委員会条例の一部を改正する条例案 |
|-----------------------|------------------------|

◆◆◆ 第2回定例会 議決結果 ◆◆◆

全会一致で決まったこと

- 令和6年度補正予算 ・ 石狩市一般会計補正予算(第3号)
- 条例等の一部改正 ・ 石狩市議会会議規則の一部を改正する規則案
・ 石狩市議会委員会条例の一部を改正する条例案
- 報告 ・ 令和5年度石狩市一般会計繰越明許費繰越計算書報告の件
・ 令和5年度石狩市介護サービス事業特別会計繰越明許費繰越計算書報告の件
・ 令和5年度石狩市公共下水道事業会計予算繰越計算書報告の件
・ 専決処分報告の件(交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件)
・ 専決処分報告の件(車両の損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件)
・ 専決処分報告の件(家屋の損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件)
- その他 ・ 工事請負契約締結の件(開運橋架替工事)
・ 人権擁護委員推薦について意見を求める件(長谷川洋子氏、小野寺美世氏)
・ 市道路線変更の件
・ 財産の取得の件
・ 工事請負契約締結の件((仮称)浜益小中学校整備事業の内建築主体工事(改修工事))
・ 工事請負契約締結の件((仮称)浜益小中学校整備事業の内建築主体工事(増築工事))
・ 工事請負契約締結の件((仮称)浜益小中学校整備事業の内機械設備工事)
・ 工事請負契約締結の件((仮称)浜益小中学校整備事業の内電気設備工事)
- 意見書 ・ ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
・ 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書
・ 下請けいじめは許さない・企業間取引の適正化への取り組みと、更なる強化を求める意見書
・ 地方財政の充実・強化に関する意見書
・ 2024年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
・ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充の実現に向けた意見書
・ 「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
・ 災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書
- 陳情 ・ 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての陳情
・ 選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての陳情

会派の態度が分かれたもの

- 令和6年度補正予算 ・ 石狩市一般会計補正予算(第2号)

石政	公明	共産	改革	無	採決結果
○	○	×	○	○	可決

(石政:石政会所属議員8人 公明:公明党所属議員3人 共産:日本共産党所属議員3人 改革:改革市民会議所属議員3人 無:無所属議員1人)

一般質問

6月18日

石政会

やま もと けん じ

山本 健司



録画映像配信 ▶



市職員の市内居住促進について

指針の周知等で意識づけに努める

石狩市は市外に住む市職員の割合が多く、市民から市の業務に携わっている人たちにはやはり市内に住んでもらいたいという声が聞かれますが、職員の市内居住率を高めることは、行政への熱量向上をはじめ、市

税納付や地域内での消費経済、地域活動の担い手不足、災害時の緊急対応などに対して一定の効果があると考えます。そこで、近年の職員の市内居住率の増減と、促進への取り組みについて伺います。

【答】 市職員の市内居住率は50%台で推移し、5年前との比較ではマイナス1・7%、前年度比較ではプラス0・2%となっており、市では促進に向けて「石狩市職員地域協働指針」を定め、周知することにより日常的な意識づけに努めています。加えて、新規職員の採用募集では案内に市内居住を明記し、直近5年間の新人職員の居住率は約70%となった

ところですが、今後も居住率アップに向けた取り組みを継続していきたいと思います。
(副市長)

スムーズ横断歩道の導入について

冬期の課題もあり他市の動向を注視

スムーズ横断歩道とは路面を盛り上げて凸部を設け、歩道と同じ高さにするることによって小さな子どももドライバーから見えやすくなり、車の減速も

期待できるもので、信号機の無い横断歩道に設置することで交通事故の抑制につながると考えますが、導入について市の見解を伺います。

【答】 スムーズ横断歩道は通学路等の交通安全対策の参考とするため、札幌市手稲区や苫小牧市での制限速度を30kmとする「ゾーン30」のエリア内で、1カ月間の実証実験が行われ

ましたが、積雪量の多い地域では冬期の視認性の低下や除排雪への影響懸念など課題もあることから現時点での導入は難しいものと考えており、今後の他自治体の動向を注

軌道系交通の札幌市との連携について

関係機関と情報共有し検討を深化させる

報道されている軌道系交通の3路線はどれも半分ほどが札幌市の区間であることから、この都市型ロープウエー構想を進めるにあたっては札幌市

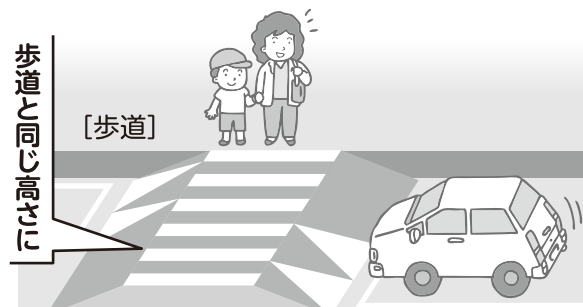
との連携をしっかりと取っていかねければ実現は困難と考えますが、市の見解と、構想の進捗状況を伺います。

【答】 昨年の調査では複数の交通モードの比較や官民連携による運営手法、設定3ルート

の需要予測などについて検討を行ったところですが、本市の公共交通の現状は路線バスが

視していきたいと思えます。
(環境市民部長)

スムーズ横断歩道のイメージ



から開発事業者における技術的検証や法的根拠の整理など多くの課題も見えてきており、今後は札幌市をはじめとする関係機関と情報共有を図るとともに、ドライバー不足など広域的な社会課題の解決に資する交通モードとして検討を深化させていきたいと考えています。

(市長)

その他の質問

● 熱中症対策について

一般質問

6月18日

公明党

やまもと ゆみこ

山本 由美子



録画映像配信 ▶



春の交通安全対策について

関係機関と連携して取り組む

① 毎年、雪解け後には白線が消えかけている横断歩道を多数見かけますが、交通事故防止に向け警察に再塗装を申し出る考えはありませんか。

② 歩行者に注意を促す場所に貼られるストップマークが市

内の各小学校に隔年で配布されていますが、入学式や始業式の時点で設置されている通路が少ないため、4月の整備だけでも市の責任で行う考えはありませんか。

答 ① 本市では地域から寄せられる要望を取りまとめ、札幌方面北警察署を通じて北海道公安委員会へ毎年要望しており、道公委は交通事故の危険性や劣化状況等を考慮しながら順次、横断歩道の再塗装を行っているものと認識していますが、早期の実施に向けて要望活動を継続していきます。

② ストップマークは学校によ

る自主的な作業を通じて通学路の安全点検や児童の交通意識高揚につなげる観点から、設置場所や時期は各校に判断していただいています。引き続き関係機関と連携を図り対策を推進していきます。（環境市民部長）

子ども医療費助成について

高校3年生までの拡充を検討

① 厚田展望台が恋人の聖地であることを示す案内板が少ないため国道沿いに写真入りの看板を設置してはいかがですか。また、草やコケが生え、壁が崩れ落ちている所もあります。聖地選定20周年に向け補修等を進める考えはありませんか。

② 聖地訪問者が利用する道の駅は駐車スペースが狭くドアの開閉時に難儀します。当て逃げ事故の防止のためにも現在消えかかっている白線を引き直す際には駐車台数が減っても間隔をもう少し広げるべきだと思いますが、市の考えを伺います。

恋人の聖地の整備について

案内看板の設置等を協議する

① 厚田展望台が恋人の聖地であることを示す案内板が少ないため国道沿いに写真入りの看板を設置してはいかがですか。また、草やコケが生え、壁が崩れ落ちている所もあります。聖地選定20周年に向け補修等を進める考えはありませんか。

② 聖地訪問者が利用する道の駅は駐車スペースが狭くドアの開閉時に難儀します。当て逃げ事故の防止のためにも現在消えかかっている白線を引き直す際には駐車台数が減っても間隔をもう少し広げるべきだと思いますが、市の考えを伺います。

答 ① 看板の設置にあたっては道路管理者等と協議したいと思っています。また、厚田展望台は道内第1号として聖地認定された平成18年に補修工事を行いました。市では来訪者が安心安全でいつまでも思

い出に残る観光スポットとして支持されるよう、必要な修繕を行っていききたいと思っています。

② 駐車スペースの区画が狭いといった利用者からの声は指定管理者アンケートでも寄せられており、市としては可能な

答 子ども医療費助成は少子化対策の観点から国の施策に

よる一律の制度であることが望ましいと考えていますが、健

康保持等から国に先行した取り組みが必要と判断し、市は本年4月から中学3年生まで拡充したところです。また、児童手当が10月から高校3年生まで拡大されたことも踏まえ、子ども医療費の対象年齢を令和7年4月から高校3年生までに引き上げる方向で検討を進めていきたいと思っています。（市長）



▲厚田展望台

限り現状の駐車台数を減らすずにスペースを広げられるような区画割について、今後、国道管理者等と協議調整を図っていききたいと思っています。（産業振興部長）

その他の質問

● がん患者へのアピランスケアについて

一般質問

6月18日

日本共産党

まつもと きくえ
松本 喜久枝



録画映像配信 ▶



石狩湾新港の特定利用港湾指定に関して

国の適切な判断に基づき

運用されると認識

① 4月に政府は国家安全保障戦略に基づく防衛強化策の一つとして、石狩湾新港など道内5港湾を含む16力所の港や空港を特定利用港湾に指定しましたが、これにより市民生活と近い場所に自衛隊艦船が寄港するなど日常と異なる事態になる上、有事の際には攻撃対象となる可能性が危惧され、今回の指定の受け入れは賛成しかねるものです。そこで、指定されるまで国と本市との間で協議が行われてきたと考えますが、その経過について詳細な説明を伺います。

② これまで自衛隊艦船の利用は港湾管理者の許可を必要と

してきましたが、国と港湾管理者の間で設けられた「円滑な利用に関する枠組み」では、今後は平時から港湾管理者と利用調整するとなっており、これは事実上自由に港湾が利用でき、近傍にある真駒内の第11旅団の基地と隊員による平時の訓練が可能になるものと考えられるため、この枠組みの法的根拠と第11旅団との関係について伺います。

③ 石狩湾新港管理組合の運用整備方針で本年度19億円が予算化されていますが、目的と整備内容を伺います。

④ 米軍と自衛隊の指揮・統制系統の統合・一体化が進められ

ていますが、日米合同演習も日常化してきており、米軍艦船の利用訓練について歯止めがあるのか市の考えを伺います。

⑤ 今回の指定によって石狩湾新港の性格がこれまでの商業港から一変することになるため主権者である市民へ情報提供せずに進めたことは大きな問題だと考えます。少なくとも議会との協議合意が必要だったのではなかったのか伺います。

⑥ 9年ぶりに市庁舎の外壁に自衛隊員募集の垂れ幕が下げられました。これは今回の指定と関係があるのですか。一連の動きが軍事的な流れに見えて不安になった市民から抗議の電話があったと聞いており、来年度以降は平和都市宣言を行っている自治体として十分に配慮し対応していただくよう求めますが、市の考えを伺います。

【答】

① 令和6年1月、国から石狩湾新港管理組合に「円滑な利用に関する枠組み」について確認依頼があり、石狩市を含む構成団体からの意見を

踏まえ3月に異存がない旨を国へ回答していると管理組合から伺っています。なお、本協議はあくまで国と港湾管理者との間でなされたものであり、本市と国との間で協議が行われた事実はありません。

② 利用にあたっては従来どおり他の一般貨物船と同様に港湾管理者の許可が必要であり、また、「円滑な利用に関する枠組み」は関係省庁と港湾管理者との確認事項で法的根拠はなく、第11旅団との個別の関係も明記されていません。

③ 令和6年度における国の港湾整備事業として、約19億円が配分されたと承知しており、内容は港内静穏度を確保するための北防波堤の整備や循環資源の効率的な輸送促進を図るための東地区岸壁の整備となっています。なお、当該事業は民生ニーズに基づくものであり、自衛隊や海上保安庁のための整備ではないと伺っています。

④ 今回の枠組みはあくまで港湾法に基づく通常の港湾利用に係る内容であり、自衛隊

の部隊配備を目的としていないことから、米軍が今回の枠組みに参加することはないと認識しています。

⑤ 国防に関することは国の専管事項であり、国において適切に判断され、国が示した考え方に基づき運用がなされると認識しており、また、市民への情報提供などについても国の専管事項であると認識しています。

⑥ 自衛官募集の懸垂幕の掲示理由は、昨年度、市の自衛官募集相談員の会などから要請があり行ったもので、自衛官募集の広報は自衛隊法施行令による第1号法定受託事務であり、このたびの特定利用港湾指定との関係はありません。

(副市長)

一般質問

6月18日

改革市民会議

かな や さとし

金谷 聡



録画映像配信 ▶



ロープウエー構想の進ちよく状況について

路線の需要予測等を調査し

一定の成果を得た

昨年、私たちの会派では神奈川県秦野市にある都市型ロープウエーの開発企業を訪問し、その安定走行や需要に合った柔軟な運用の実現が見込まれることなどを伺ってきましたが、さらに本市で生産される再

生エネルギーを電源に用いることで持続可能な公共交通機関になり得ると考えています。現在、市では麻生・手稲・栄町の3ルートを検討されていますが、構想の進ちよくと、今後の課題について伺います。

答 昨年度は3路線の需要予測や事業採算性のほか官民連携手法やマーケットサウンディング調査等も実施し、一定の成果を得ることができたと考えています。また、当該事業は市民の関心や期待も高いと承知している一方で、社会実装に向け推進していくにはさらなる条件整理が必要であり、今後の課題は都市型

自走式ロープウエーが社会資本として取り扱われるための法的根拠の整理や、各種規制等との整合性を図ることと認識しており、加えて積雪による影響についても実証事業などを通して技術的な検証を行っていくことが必要だと考えています。
(市長)

本市のハンター登録状況について

ヒグマ駆除の従事者数は現在15人

ヒグマの目撃が相次ぐ中で昨年は10人が死傷され、またエゾシカ等による農作物の被害も深刻になる中、北海道猟友会のデータによると道内のハンター登録者数はピーク時に比

べ約4分の1にまで減少してきており、さらにハンターの半数が60歳以上と高齢化も課題になっています。そこで、本市におけるハンターの登録状況と今後の展望について伺います。

答 本市のヒグマ駆除の従事者数は現在15人で、60歳以上の割合は53%となっています。また、エゾシカをはじめとする鳥獣による農林水産業等の被

害防止は北海道猟友会札幌支部石狩部会の会員と市担当職員で構成する「石狩市鳥獣被害対策実施隊」を設置し、駆除従事者数は現在38人で、

AI型教材の改善について

メーカーに対策を働きかける

ICT技術を駆使したAI型教材は児童生徒一人一人に個別最適化された出題によって短時間復習を実現し、効果的な知識定着が可能となる優れたものですが、改善点も見受けられます。入力機能にはキー

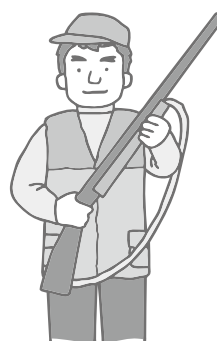
ボードや音声に加えて手書きがあります。記入したい文字とは別の字や記号に誤変換されてしまうことがあると聞いており、こうした課題に対し市教委としてどのような対応を考えているか伺います。

答 本市では昨年7月から学習効果をより高めるため全校にAIドリルを導入し、授業や家庭学習などで活用している

中で、幾つかの学校からは手書き入力の誤変換やドリルの操作性に関する改善要望などが寄せられており、各学校が

60歳以上の割合は47%ですが、20代の会員が2人いるなど若い世代も加入されており、引き続き北海道猟友会と連携し、市民とヒグマやエゾシカとのあつれきを低減し生活環境の保全と農林水産業の健全な発展に努めます。

(副市長)



直接メーカーのヘルプデスクに声を届けている場合もありますが、市教委としても速やかに適切な対策が講じられるようメーカーに働きかけていきたいと思っています。

(学校教育部長)

その他の質問

- 市役所本庁舎のセキュリティ対策について
- 水田活用直接支払交付金に係る畑地化の進ちよくについて

一般質問

6月18日

石政会

あお やま ゆう じ
青山 祐司



録画映像配信 ▶



屯田・紅葉山通の整備について

令和11年度の供用開始を目指す

緑苑台西地区の宅地造成は今秋には全工区が完了し、さらにその西側の区域も現在造成中の工区の販売状況や社会情勢を見極めながら造成を進めていく旨を聞いていますが、本年度、調査費が予算化された

屯田・紅葉山通が接続されることで札幌市と緑苑台地区とのアクセスが向上し、造成に弾みがつくものと考えています。そこで、屯田・紅葉山通の現在の進捗よく状況と、開通に向けた今後の予定を伺います。

答 当該路線は緑苑台地区と札幌市北区屯田を結ぶ道路になるとともに、手稲方面やあいの里方面へのアクセス向上や、将来的に札幌圏連絡道路が整備された際には恵庭・千歳方面へもアクセスが可能となり産業や防災の基盤形成上でも重要な路線になるものと認識しています。また、当該路線は道路幅員が20m、発寒川を横断する橋梁約70mを含

め全体道路延長約350mの道路となっており、国の社会資本整備交付金を活用しながら執り進め、本年度から2年かけて土質などの調査や測量、橋梁などの詳細設計を行った後、令和8年度から工事に着手し、11年度の供用開始を目指して取り組んでいきたいと考えています。
(建設部長)

警察署設置要望後の進捗よくについて

実現に向けて引き続き粘り強く取り組む

① 近年の交通量増加による事故防止や石狩湾新港を含めた各施設への防犯対策は急務であり、さらに、札幌方面北警察署が管轄する面積や人口、地勢などを勘案すると石狩警察署の設置は必要だと考えます。昨年の第3回定例会では引き続き根気よく

要望していくとの答弁がありましたが、その後の進捗よくについて伺います。**②** 花川北交番が老朽化による建て替えで閉鎖され、来年に新設される予定と聞いていますが、新交番は幹部交番や分庁舎のような格上げとなるのか、その規模についても伺います。

答 ① 昨年、本市では交通事故が129件発生し、4人の死者と168人の傷者が出ているほか、

か、刑法犯の総数が258件あり、本年度に入って子どもへの声かけなど不審者情報がすでに8件

道央圏連絡道路の全面開通に向けて

整備促進期成会等を通じて要望を展開

石狩湾新港と新千歳空港を、札幌中心部を通らずに結ぶ道央圏連絡道路は、交通混雑の緩和や物流面等で大きな効果が期待される事業ですが、南幌町と長沼町を結ぶ区間で開通のめどが立っており、本来のバイパス道

路としての役割を果たせていない状況にあるため、国や道、関連自治体が一つとなり用地買収を強く推し進める必要があると考えます。そこで、全面開通に向け市として現在どのような取り組みを行っているのか伺います。

答 本市を含む8つの市や町で組織する道央圏連絡道路整備促進期成会は、当該道路の早期完成を目指し国土交通省や財務省、道内選出国会議員に対し

毎年要望活動を行っており、特に今年度は千歳空港の隣接区域に次世代半導体工場が建設中で当該道路の重要性がさらに高まることから、例年7月に1度実

発生しています。こうした状況の中で、市民が住み慣れた地域で安全安心な生活を送るためには警察機能のさらなる充実が欠かせないものと考えており、本年秋に関係団体と連携し引き続き石狩警察署設置の要望活動を行います。**②** 令和7年中の開所が予定されている花川北交番の幹部交番等への格上げの可能性や規模について札幌方面北警察署に確認したところ、現時点で詳細を示すことができない旨の回答をいただいています。(環境市民部長)

施設していた中央要望活動を1回追加して年2回とし、5月に長沼南幌道路の整備促進について要望を行ってきたところです。また、私が会長を務め、石狩管内の市町村で構成する石狩地方開発促進期成会でも毎年要望を行っており、今後も粘り強く継続していきたいと思います。(市長)

その他の質問

- 緑苑台地区の花川中学校への冬季通学費負担について
- 石狩湾新港の特定利用港湾指定について
- 洋上風力発電の商業運転開始後の現状について

一般質問

6月19日

日本共産党

やまざき さちこ

山崎 祥子



録画映像配信 ▶



高校・大学の奨学金制度の充実について 国の支援新制度や見直し等の動向を注視

①本市では向上心があり、能力があるにもかかわらず経済的な理由で修学が困難な高校生等に返還不要の奨学金を年間7万2千円支給しています。が、教育格差をなくして、だれもお金の心配をせずに学べるよう、奨学金の増額を検討

すべきではありませんか。

②学費等を払うため授業期間中も日常的にアルバイトをする学生も多いため、本制度の所得基準にある市内大学生にも対象を拡大できないか伺います。

答

①本市の奨学金制度は限られた財源をより多くの生徒の未来のために有効活用するとともに、持続可能な制度設計とすることが必要であることや道内他市と比較して支給額に大きな差異がないことなどから、現時点での増額は考えていません。

②国は本年度、大学生等を対象とした修学支援新制度で

ファミリー・サポート・センターの充実について サポート会員の確保や事業継続のため利用料を改定

子育ての援助を希望する依頼会員と援助ができるサポート会員とが、相互理解と協力のもとに有償で乳幼児や児童を預かるファミリー・サポート・センター事業は、サポート会員のなり手不足で利用料金の改定

があつたと聞いていますが、その内容を伺います。また、函館市や旭川市、長沼町では子育て応援として利用料金のうち半額や3割を市が助成しており、本市でも定額を助成する考えはないか伺います。

答 4月の改定で、一般保育は基本時間を前後1時間短縮して午前8時から午後6時までと

し、1時間当たりの報酬を平日の基本時間は700円、平日の基本時間以外と土・日・祝日・年

会計年度任用職員の処遇改善について アンケート結果や他市動向を見定め対応

①各支所も含め石狩市役所に勤務する会計年度任用職員など、非正規職員の全体に占める割合を伺います。

②補正予算で期末手当・勤勉手当の遡及改定がありました。が、退職手当は支給されるのか伺います。

③近年、官民間問わず人材獲得競争がし烈になる中、市として非正規職員の比率を減らし、再度の任用に係る公募の廃止と無期転換を段階的に進めていくことが、今の時代に求められている職員政策だと考えますが、市の見解を伺います。

答 ①会計年度任用職員の全体に占める割合は約35%です。

②退職手当は原則フルタイム会計年度任用職員に適用となり、

本市ではパートタイム会計年度任用職員のみであるため手当の支給はありません。

③本市では公募によらない再度

末年始の基本時間は800円、土・日・祝日・年末年始の基本時間以外は900円とし、それぞれ100円から200円増額しており、病児保育も基本時間や報酬増額を同様とし、平日900円、土曜日は千円としたところです。また、この料金で当面運営する間に極端な利用減や家計への大きな圧迫があるような声が聞かれた場合には助成制度についても研究していきたいと考えています。

(子育て推進部長)

の任用は4回を上限として規則で定め、本年度が節目の年を迎えることから現状を把握すべきと考え、5月に当該職員を任用する課に対しアンケートを実施したほか、国の事務処理マニュアルの変更等を受け、公募の見直しを行っている自治体があることは認識しているところですが、民間における無期転換は労働契約法に基づくものであり、地方公務員は適用除外となっており、引き続きアンケート結果や他市の動向を見定め対応していきたいと思います。

(総務部長)

一般質問

6月19日

改革市民会議

かみ むら さとし

上村 賢



録画映像配信 ▶



土地開発公社から取得した土地について

時機を逸せず優位性を

生かした整備を検討

①土地開発公社の解散で引き継いだ市中心部の土地は、これまで小規模多機能型居宅介護施設用地として民間事業者へ売却されたほか、サウナディング型市場調査も行われましたが、取得後8年が経過してい

ることから早期に市の整備計画を示すべきと考えますが、見解を伺います。
②取得した土地には警察署の誘致を進めるために用地の確保を行っています。現在も同様の考えなのか伺います。

答 ①中心核地区はバス交通の結節点で公共施設や文化施設が集積する利便性が高い場所であることに加え、令和4年には脱炭素先行地域に選定されており、整備については社会経済情勢を慎重に見極めながら本エリアの優位性を生かせるよう、今後も民間からの提案を受け付け、市としてもさまざまな可能性を探り、

時機を逸せず実現性の見通しを意識し検討を進めていきたいと思います。
②当該箇所は警察署の設置場所として現時点でも最適であると判断していることから引き続き要望活動を展開していきたいと思います。
(市長)

迅速で公平な罹災証明の交付に向けて

職員の業務能力向上等を図り早期に実施

平成25年の災害対策基本法の改正に伴い、罹災証明書を遅滞なく交付することが市町村長の義務として位置づけられましたが、事前の備えが不十分な場合もあり、本市と友好都市である輪島市では今回の震災

を受け、罹災証明書の発行に関し住民からスピード感に不満の声が上がっていました。そこで、迅速な交付について本市ではどのような検討が進められているのか伺います。

答 本市では地域防災計画で迅速な罹災証明書の交付に努めるよう定めており、市業務継続計画でも有事の際に実施の優先度が高い災害対応業務に位置づけています。また、平時から市職員のスキルアップを図るため、関係自治体と

連携した罹災証明書交付担当者による研修会への積極参加のほか、輪島市への被災地支援として派遣した本市職員3人が罹災証明書発行業務等に従事し、経験を積むなどの対応を行っています。
(危機管理監)

使用済み加熱式たばこ機器の回収について 引き続き適切な処理と市民周知を進める

近年、利用者が増加している加熱式たばこの機器は、他の家電製品と同様にリチウム電池やプラスチックを使用しているため、安全に廃棄処理を行い、

リサイクルすることが必要と言われていますが、本市では市民に対してどのように周知を行い、回収を行っているのか伺います。

答 加熱式たばこは現在、市役所、支所、コミュニティセンターの計8カ所に回収ボックス

を設置していますが、充電式電池内蔵製品は強い衝撃を加えると発火する危険性も

再質問 罹災証明の交付には迅速性が求められますが、被災時には圧倒的な人手不足に陥ることが予測されます。そのためにもDXソリューションの平時からの検討について考えを伺います。

再答弁 さらなるDXの推進に向け、まずは緊急・防災情報の確実かつ迅速な発信やハザードマップの表示、最寄りの避難所までの誘導などができる地域情報発信アプリの導入に向け、公募型プロポーザルを行い、本年度中の運用開始を目指します。
(危機管理監)

あり、市民には回収方法や回収拠点と併せて本年2月に改訂した家庭ごみ出し方ガイドや、6月から運用を開始したごみ・資源分別案内アプリ等で周知を行っているところです。
(環境市民部長)

その他の質問

- 市の所有車について
- 小中学生の自転車利用時のヘルメット着用について

一般質問

6月19日

石政会

すずき けい いち
鈴木 圭一



録画映像配信 ▶



花川通延伸の進ちよく状況について 用地補償の難航で令和7年度完成予定

現在工事が行われている花川通は石狩湾新港地域へ延伸する道路であり、札幌方面へのアクセス向上や既存路線の渋滞緩和などが期待され多くの方が早期開通を望んでいます

が、以前の定例会で本事業は当初令和5年度に完成予定と答弁されていたことから、改めて現在の進ちよく状況と開通時期について伺います。

答 当該事業は用地補償の難航により遅れが生じ、完成予定は令和7年度と伺っております。道と所有者との話し合いで合意に至らなかった未処理用地は本年2月、法に基づく手続きに移行し北海道収用委員会での秋頃の裁決に向け審理が行われているところであります。また、工事は事業延長1020mのうち490mの路盤改良が終わり、今年度は保安林の伐採と445mの路

医療的ケア児への理解醸成について さまざまな機会を通じ意識向上を図る

医療的ケアを必要とする子どもたちが地元で多様な支援を受け、保護者も負担が軽減され安心して生活ができる環境の整備は重要で、市として教育

機関や町内会等との連携や地域理解の醸成を図っていく必要があると考えますが、今後どのように取り組んでいく考えか伺います。

答 本市では医療的ケア児が10人おり、令和3年施行の支援法に則し関係機関の緊密な連携の下で包括的な対応が図られています。現在、医療的ケア児の存在が広く一般に知られていない実情があるため

今後さまざまな機会をとらえて理解を広げ、共に生きる地域社会が実現できるように意識の向上に努めていきたいと思えます。
(市長)

フッ化物洗口の導入について

来年度の実施に向け検討を開始

小学校でのフッ化物洗口が道内9割の自治体で行われる中、本市は未実施であり、日本でのフッ化物洗口は50年以上が経過していますが、これまで健康被害は報告されておらず、その安

全性や有用性も明らかになっており、札幌市も導入を検討していることから、本市でも希望する児童には取り組む機会を提供することも重要と考えますが、市の見解を伺います。

答 市教委では本市の子どもたちの虫歯罹患率が全国や全道と比較して高い状況が続いていることを踏まえ、来年度

からのフッ化物洗口に向け検討を始めたところですが、保護者には具体的方法や効果、安全性など十分な情報提供

再質問 昨年度設置された医療的ケア児等支援会議の出席者はどのような方々ですか。また、議論の内容とこれまでの開催回数について伺います。

再答 会議では市の関係部署で支援のための情報共有を行うほか、医療従事者、認定子ども園の保育士、児童発達支援事業所の職員等が協議を行っており、個別事案への対応は必要に応じて適宜開催し5年度は5回、6年度は現時点で2回開催しています。
(福祉部長)

を行い、意向を確認した上で希望する児童を対象に実施する考えです。また、校長会に導入の考え方を示しており、今後、学校側の懸念事項や必要な人的・物的支援など各校の意見を取りまとめ、検討を進めたいと思います。
(教育長)

その他の質問

- 小中学生向けプログラミング授業の導入について
- 市内海岸漂着物の対応と対策について

一般質問

6月19日

「やさしい社会」をつくる
市民の会

くましろちかこ

神代 知花子



録画映像配信 ▶



会計年度任用職員の公募方針について

9月をめどに方針を決定

会計年度任用職員制度が開始されて5年目。市では「公募によらない再度の任用は4回まで」と定めており、当初に任用された職員は今年度をもって雇い止めとなり、公募にかけるルールです。勤務年数で区切る雇い止め公募の見直しを求める立場から2点伺います。

①令和6年4月1日に在職している会計年度任用職員273人のうち今年度5年目を迎える職員は何人いますか。
②当事者にとって雇い止め公募があるかないかは生活に直結する最重要事項ですが、市の方針はいつ示されますか。

答 ①今年度5年目を迎える会計年度任用職員は全体数で92人、うち月額報酬を受けける者が77人です。

②会計年度任用職員が在籍する課にアンケート調査を実施し、現在、精査中です。専門性が高い職種や地域性などで公募しても応募がないなど人手不足を懸念する声があり、

再任用の上限及び公募制度について見直しの必要性を感じています。当事者の不安感が長引くことのないよう9月をめどに方針を決定したいと考えています。
(総務部)

小学校の集団フッ化物洗口について

保護者の意向を尊重し、希望する児童に実施

小学校での集団フッ化物洗口を実施していないのは、石狩管内では石狩市のみです。しかし石狩市は次年度から実施に向けて取り組んでいくと方針を転換したため、不安を感じる学校や保護者が多いようです。

①乳歯から永久歯に生え変わる12歳の子どもの虫歯の有病率について、石狩管内の状況を教えてください。それは集団フッ化物洗口の未実施と因果関係があるでしょうか。
②フッ化ナトリウムは令和2

年度に劇物指定されました。先行してフッ化物洗口を実施している市の認定こども園ではどのように実施されていますか。保護者への説明についても伺います。

③集団フッ化物洗口が半強制的に実施されれば、子どもの自己決定権の侵害と言わざるを得ません。賛否両論あることなど、どのように情報提供に取り組むのか伺います。
④実施に向け校長会からの要望などはあったのでしょうか。

答 ①12歳児の虫歯の有病率について石狩管内のデータは持ち合わせていませんが、石狩市は74.4%です（令和3年度学校保健統計調査）。全国の25.8%、全道の34.1%に比べ高いですが、集団フッ化物洗口の未実施との因果関係には分かりかねます。

(子育て推進部)
②溶解前のフッ化ナトリウムの容器や保管庫には「医薬用

外劇物」と表示し、鍵のかかる保管庫へ保管、管理簿による数量の管理が必須事項であると北海道が市町村長及び教育長に通知しています。ただし、洗口液はフッ化物濃度が1%以下になることから劇物には該当しません。現在、市内9カ所の認定こども園で集団フッ化物洗口を実施していますが、まず各園の歯科医に洗口剤の濃度調整などに関する指示書

を作成してもらい、市から1年分の薬剤を各園に配布。誤飲を防ぐため事前にブックアップの練習をしてから、週に1〜5回程度で実施されています。保護者の説明会はいくつ開催しているほか、希望する園には市の担当者が出向いて説明をしています。

(子育て推進部)
③小学校でのフッ化物洗口は虫歯予防の機会の提供につながり、子どもの最善の利益にかなうものと考えます。保護者には期待される効果や安全性など十分な情報提供を行い、それぞれの意向を尊重した上で希望する児童を対象に実施します。決して強制するものではありません。

(学校教育部)
④課題や要望はこれから寄せられるものと考えています。学校の意見を踏まえ、他自治体の取り組みを参考にして進めていきます。
(学校教育部)

その他の質問

●脱炭素推進施策の取り組みについて

委員会活動だより

各委員会が4月～6月に審査した
議案などをお知らせします。

総務常任委員会

防災、総合計画、農林漁業、新港企業、観光、予算、市税などを審議します。

左から委員 伊藤一治 片平一義 遠藤典子 山田敏人 蜂谷高海



副委員長 神代知花子

委員長 日下部勝義

○主な調査項目

- ・ シン・交通計画について
- ・ 公共施設等総合管理計画実施計画等について
- ・ 予定価格が130万円を超える工事の発注状況について（令和5年12月1日から令和6年3月31日まで）
- ・ 令和5年度建設工事発注状況について
- ・ 令和5年度物品等発注状況について
- ・ 予定価格が130万円を超える工事の発注状況について（令和6年4月1日から令和6年5月31日まで）
- ・ 所管事務調査（防災行政無線の聞きづらさ解消に向けて）

厚生常任委員会

環境、ごみ・リサイクル、町内会、子育て、高齢者・障がい者福祉などを審議します。

左から委員 青山祐司 山本健司 阿部裕美子 松本喜久枝



副委員長 金谷聡

委員長 加藤泰博

○主な調査項目

- ・ 省エネエアコン購入補助金の受付開始について
- ・ 北石狩衛生センター破砕施設の爆発事故について
- ・ 熱中症対策のクーリングシェルター指定について
- ・ 所管事務調査（子ども食堂の現状と課題について）

建設文教常任委員会

道路維持、公園、公営住宅、除雪、上下水道、学校関係、図書館などを審議します。

左から委員 山崎祥子 鈴木圭一 山本由美子



副委員長 上村賢

委員長 高田静夫

○主な調査項目

- ・ 特定空家の認定について
- ・ 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 石狩市結果報告
- ・ 令和5年度除排雪事業について
- ・ 学校における暑さ対策について
- ・ 石狩市学校給食センター運営委員会への諮問について

議会ハラスメント問題等調査特別委員会

主な調査項目 5月14日、6月20日 ・ ハラスメント問題等調査に関する事項について

議会運営委員会

第2回定例会までに届けられた意見書は次の結果になりました。

意見書名	審議結果
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書(案)	本会議提案
政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書(案)	本会議提案
若者が地元で働き暮らせるよう、全国一律最低賃金制度の創設を求める意見書(案)	審議未了
地方自治法改正案に関わる意見書(案)	取り下げ
現行の健康保険証の廃止を撤回し、存続を求める意見書(案)	審議未了
全国一律最低賃金制度の実施と最低賃金の大幅な引き上げを求める意見書(案)	審議未了
次期戦闘機輸出の閣議決定の撤回を求める意見書(案)	審議未了
生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書(案)	審議未了
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書(案)	取り下げ
下請けいじめは許さない・企業間取引の適正化への取り組みと、更なる強化を求める意見書(案)	本会議提案
地方財政の充実・強化に関する意見書(案)	本会議提案
2024年度北海道最低賃金改正等に関する意見書(案)	本会議提案
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充の実現に向けた意見書(案)	本会議提案
「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書(案)	本会議提案
下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP導入に向けての丁寧な対応を求める意見書(案)	審議未了
地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書(案)	審議未了
聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書(案)	審議未了
災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書(案)	本会議提案

※意見書については、議会運営委員会で審議し本会議で議決します

※審議未了とは、議会の会議に付託された事件が当該会期中に決着せず、継続審査の決定もされないまま会期を終えるに至った場合のこと

石狩市議会政務活動費収支報告 概要

令和5年度、石狩市議会における各会派に交付された政務活動費の収支報告書の概要をお知らせします。

政務活動費は議会における会派(所属議員が1人の場合を含む)に対し、所属議員1人当たり年額20万円が上半期と下半期に分けて交付されます。

単位：円(執行率以外)

会派名	交付額(A)	研究 研修費	調査 研究費	資料作成・ 購入費	広報・ 広聴費	事務所費	その他の 経費	合計(B)	返還額 (A)-(B)	執行率 (B)/(A)
石政会 (8人)	1,455,191		1,040,800	30,000			34,969	1,105,769	349,422	76.0%
公明党 (3人)	519,672	90,770	263,610	6,440			49,630	410,450	109,222	79.0%
日本共産党 (3人)	519,672			8,750	265,040	184,000	42,361	500,151	19,521	96.2%
改革市民会議 (3人)	519,672	45,000	474,300					519,300	372	99.9%
無所属 (神代知花子) (1人)	173,224	29,438	1,620	32,857	6,000		100,852	170,767	2,457	98.6%
無所属 (花田和彦) (1人)	167,213		121,362					121,362	45,851	72.6%
合計	3,354,644	165,208	1,901,692	78,047	271,040	184,000	227,812	2,827,799	526,845	84.3%

※令和5年度は、5月14日の市議会議員選挙後に会派結成等がされたため交付額が日割り計算となっています

☆議会では、情報公開推進のため政務活動費で支出した領収書、視察・研修等を行った場合には行程表及び視察・研修報告書をホームページで公開しています。

定例会開催予定

次回の第3回石狩市議会定例会は9月3日(火)から開催を予定しています。

表紙の団体「石狩ボート協会」

協会員は主に石狩翔陽高校ボート部の皆さんで、北海道茨戸川漕艇研修センターを拠点に5～11月にかけて、茨戸川での練習風景が見られます。8月には石狩市民レガッタを開催し、一般の方もオールを握れます。

問合せ 石狩翔陽高校 事務局長 坂元さん ☎74・5772

議会広報特別委員会

委員長 金谷 聡
副委員長 青山 祐司
委員 鈴木 圭一
委員 山本 健司
委員 山本 美子
委員 山崎 祥子

石狩湾新港は、国際貿易港として開港し30周年を迎えました。新港地域は、今や700社を超える企業が立地し、2万人もの方が働く大規模工業団地となり、北海道の物流と産業を支えています。

また、太陽光発電やバイオマス発電に加え、今年から洋上風力発電の商業運転も始まり、再生可能エネルギーの供給拠点としても注目されています。

一方で、石狩浜には海、川、砂浜、草原、林と多様な環境が存在し、様々な野生動物や海浜植物が生息しています。強風が吹く海岸の砂地に深く根を張るハマボウフウの生命力は、私達に生きる力を与えてくれているような気がします。

普段何気なく見過ごしている石狩の風景は、実はとても貴重な環境なのです。先日発売された『石狩叢書・石狩海岸の自然誌』を手にとると、「ふらりと」はまなすの丘公園」に行ってみたくなりますよ。

編集の窓

☆市議会だよりをご覧くださいありがとうございます。皆さまのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

石狩市議会の会議録をご覧ください

2次元コードから石狩市議会定例会と臨時会の会議録が閲覧できます。または市役所ホームページから右側の石狩市議会をクリックし、会議録検索をクリック!



ERIS 議会の情報は「えりす いしかりネット テレビ」でもご覧いただけます!

